

原因調査を行ったが、製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した案件

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
1	A202100891 令和4年2月8日(山口県) 令和4年2月18日	温水洗浄便座	CW-H21(株式会社 LIXILブランド)	アイシン精機株式会社(現 株式会社アイシン)(株式 会社LIXILブランド)	(火災) 店舗で異臭がしたため確 認すると、当該製品を焼 損する火災が発生してい た。	○当該製品は、本体樹脂製外郭の中央部分及び便蓋の一部が焼損していた。 ○本体樹脂製外郭の中央部内部の温水ヒーターの端子部を中心に焼損していた。 ○温水ヒーターの端子部は腐食していた他、ヒーター端子部に溶接されたメールタブも溶接部が腐食し、ヒーター端子部から外れて いた。 ○内部配線等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○トイレの洗浄等には、消臭剤、除菌スプレー、洗剤を使用していた。 ●当該製品は、温水ヒーターの端子部が腐食したため、端子部とメールタブとの溶接部で接触不良が生じて異常発熱し、焼損したも のと考えられるが、焼損が著しく、事故発生以前の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らな かった。	
2	A202300011 令和4年4月19日(福島県) 令和5年4月6日	リチウム蓄電池	CATL3.2V310Ah	株式会社B.E.N.E.F.I.T	(火災) 当該製品及び周辺を焼損 する火災が発生した。	○当該製品は、事業者が使用者宅に施工した太陽光発電・蓄電システム用の蓄電池である。 ○当該製品は外観上、焼損が著しかった。 ○当該製品は既に廃棄されており、詳細を確認できなかった。 ○当該製品の付近にあった太陽光発電・蓄電システム用のインバーター、配線類等の焼損は著しく、詳細を確認できなかった。 ●当該製品は、焼損が著しく、詳細が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
3	A202300154 令和5年※不明(熊本県) 令和5年5月25日	コンセント付洗面化粧台	RVM-752H	日立化成工業株式会社 (現 株式会社ハウステック)	(火災) 当該製品のコンセントにセラミックファンヒーターの電源プラグを接続して使用中、コンセント及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、事故発生時にセラミックファンヒーターの電源プラグが接続されていた1口コンセント部のみが焼損していた。 ○焼損したコンセントの刃受金具は、間隔が広がっており、また、電源プラグの栓刃との接触面に腐食が認められた。 ○当該製品に接続していたセラミックファンヒーターは確認することができず、電源プラグの状態は不明であった。 ●当該製品は、コンセントの刃受金具に腐食が認められたことから、異物等の浸入により、接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定されるが、当該製品の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
4	A202300194 令和5年5月※不明(徳島県) 令和5年6月7日	ポータブル電源(リチウムイオン)	ZMR330-JP	EcoFlow Technology Japan株式会社	(火災) 車両内で異臭がしたため確認すると、当該製品を溶融し、周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は、屋外駐車場に駐車した車両の荷室に置かれており、当該製品を置いていた箇所を中心に焼損していた。 ○当該製品の外観は、底部及び側面の一部が焼損していたものの、その他の箇所に焼損等の異常は認められなかった。 ○底部側に位置するリチウムイオン電池セルの電圧監視用基板は焼損が著しく、銅箔パターンの一部が焼失していた。 ○充放電制御基板上の一部の部品で焼損及び短絡故障が認められた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セルは焼損しておらず、出力電圧は正常であった。 ○電源基板、入出力基板等、その他の電気部品に異常は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルの監視用基板から出火し焼損したものと推定されるが、基板の焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況等が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
5	A202300415 令和5年7月24日(東京都) 令和5年8月10日	エアコン	RAS-2210T	東芝ライフスタイル株式会社	(火災、軽傷1名) 当該製品から出火する火災が発生し、1名が軽傷を負った。	○当該製品は、著しく焼損し、外郭及びファン等の樹脂製部品が焼失していた。 ○内部の電源コードは、被覆が一部溶融し、メイン基板接続コネクタ近くの配線に溶融痕が認められた。 ○表示基板及びメイン基板は、穴空きや銅箔パターンに損傷はなく、出火の痕跡は認められなかった。 ○端子台のコネクター、ファンモーター等、その他の残存した電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○内外連絡線は、被覆の一部が溶融していたが出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、本体内部に位置する電源コードが短絡して出火した可能性が考えられるが、当該製品の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
6	A202300481 令和5年8月14日(埼玉県) 令和5年9月5日	エアコン	F285TX-W	ダイキン工業株式会社	(火災) 居室を焼損する火災が発生し、現場に当該製品があった。	○当該製品は約10年前から使用していなかったが、電源プラグは壁コンセントに接続したままであった。 ○当該製品の焼損は著しく、樹脂部分はほとんど焼失していた。 ○電源基板、制御基板及び表示基板の大部分は焼失し、受信基板は確認できなかった。 ○電源基板は運転停止時であっても、常時100V印加される仕様であった。 ○電源コードは、焼損して断線し、一部確認できなかった。 ○ファンモーター、端子台等、確認できた電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○取扱説明書には、「長期間使用しないときは電源プラグを抜き、専用のブレーカーを切る。」旨、記載されている。 ●当該製品は、電源基板から出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
7	A202300557 令和4年11月19日(神奈川県) 令和5年9月22日	リチウム電池内蔵充電器	A35	明誠株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、何も接続されていない状態で居室に放置されていた。 ○当該製品は外観上、著しく焼損しており、樹脂製外郭は焼失し、内蔵のリチウムポリマー電池セル2個は露出していた。 ○電池セル2個はいずれも著しく焼損及び膨張していた。 ○内部の基板に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
8	A202300629 令和5年10月10日(広島県) 令和5年10月19日	電動アシスト自転車	BM-M20D	株式会社カイホウジャパン	(火災) 当該製品のバッテリーを充電中、当該製品のバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品のバッテリーを充電中に異音が生じたため確認すると、バッテリーから出火していた。 ○バッテリーの焼損は著しく、樹脂製外郭は大部分が焼失していた。 ○バッテリーに内蔵のリチウムイオン電池セル7個のうち、4個は確認できず、残り3個は焼損が認められたものの、原形をとどめていた。 ○バッテリーの制御基板については、詳細を確認することができなかった。 ○バッテリーに接続していた充電器に焼損等の異常は認められなかった。 ●当該製品は、バッテリーに内蔵されたリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
9	A202300630 令和5年8月31日(千葉県) 令和5年10月19日	食器洗い乾燥機(ビルトイン式)	RKW-458C-2	リンナイ株式会社	(火災) 当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は、引き出し式水槽の奥側及び近傍の内部配線が焼損し、水槽が収められている金属製外郭の内側に水漏れの痕跡が認められた。 ○焼損した内部配線は水槽の出し入れ時に曲がる可動部であり、焼損箇所に断線及び溶融痕が認められた。 ○当該製品は製造から14年が経過しており、使用者は5年前に購入した中古住宅に設置されていた当該製品を使用していたが、それ以前の使用状況は不明であった。 ●当該製品は、長期使用(約14年)による内部配線の屈曲に伴う劣化又は外郭内側の水漏れによる絶縁性能の低下により短絡が発生し、出火した可能性が考えられるが、当該製品の詳細が確認できず、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
10	A202300654 令和5年7月14日(東京都) 令和5年10月30日	エアゾール缶(殺虫剤)	なし	アース製薬株式会社	(重傷1名) 使用者(70歳代)が当該製品を使用し、数日後、体調を崩したため救急搬送され、負傷が確認された。	○使用者(マンション管理人)が2階から13階の外廊下にある外灯全てに当該製品1本使い切らない程度を噴霧してまわってから2日後、救急搬送され、化学性肺炎と診断されたとの申出内容であった。 ○当該製品は、シリコーン樹脂、ピフェントリン、フタルスリン、ケロシン、LPG及びDMEを含有している殺虫剤及び忌避剤である。 ○主材としてシリコーン樹脂等をスプレーにより噴霧して塗布する形で使用される家庭用防水スプレー製品等に適用される厚生労働省の「家庭用防水スプレー製品等安全確保マニュアル作成の手引(第3版)」によれば、細かい噴霧粒子が肺深部まで到達することによって中毒事故が発生することが確認されていた。 ○同手引の中毒事故の未然防止の目安値として、10μm以下の微粒子の存在率が0.6%以下であることが挙げられているが、当該型式品の微粒子の存在率は1.93%であった。 ○同手引において、噴霧粒子の付着率が噴霧直後で60%以上、5分後で20%以上であった製品では中毒事故が発生しておらず、当該型式品の付着率は噴霧直後で89.9%、5分後で88.2%であった。 ○ピフェントリン及びフタルスリンはピレスロイド系の殺虫剤として一般的に使われている成分であり、大量に吸入すると神経系過剰刺激の症状が出るが、化学性肺炎を発症するか不明であった。 ○ケロシン(灯油)は誤えん(液体又は固体の化学品が気管及び下気道へ侵入すること)により化学性肺炎をおこす物質であった。 ○本体表示には、「噴射気体を吸入しない。」旨、記載されている。 ●当該製品は、噴霧された成分を吸引すると健康被害に至る可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
11	A202300664 令和5年9月6日(岡山県) 令和5年11月2日	タブレット端末	iPad A1567	Apple Japan合同会社	(火災) 異音がしたため確認すると、当該製品から発煙する火災が発生していた。	○当該製品は、使用及び充電をしていない状態で机上に置かれていたところ、異音が生じて発煙した。 ○当該製品は、内蔵の2個のリチウムポリマー電池セルのみに焼損が認められた。 ○電池セル2個のうち1個に、焼損と放射状のしわが認められた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
12	A202300800 令和5年11月29日(岡山県) 令和5年12月12日	電気冷温風機	AM09	ダイソン株式会社	(火災) 当該製品を延長コードに接続していたところ、当該製品及び建物を全焼する火災が発生した。	○当該製品は外観上、焼損が著しく、原形をとどめていなかった。 ○内蔵の電気部品は焼損しており、バイメタルサーモ及びヒューズが確認できなかった。 ○PTCヒーター、ファンモーター等のその他電気部品に出火した痕跡は認められなかった。 ○電源コードは断線が認められ、芯線の一部が欠損して確認ができなかったが、断線部に溶融痕は認められなかった。 ●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
13	A202300827 令和5年11月22日(神奈川県) 令和5年12月21日	LEDヘッドライト(リチウムイオン、充電式)	502195	レッドレンザージャパン株式会社	(火災) 駐車場で車両内に置いていた当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は外観上、バッテリーケース部分の焼損が著しく、樹脂製外郭が溶融して内蔵のリチウムイオン電池セル及び入出力基板が露出していた。 ○入出力基板は、確認できた銅箔パターンに溶融、基材の穴空きは認められなかったが、焼損が著しく、実装されていた部品の大部分が脱落しており、充電端子接続部の片側の銅箔パターンが欠損していた。 ○内蔵の電池セルは外装缶に大きなへこみや傷等は確認できなかったが焼損していた。 ○電池セル内部の保護回路基板、LEDライト等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品を充電していた付属のマグネット式充電ケーブルは、ケーブルの中間部から当該製品までの被覆が溶融し、マグネット式充電端子部分が欠損して確認できなかった。 ○当該製品は金属粉が飛散する環境で使用していたことがあり、当該製品に金属粉が付着する可能性があったとの申出内容であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったこと及び充電ケーブルのマグネット式充電端子部分に金属粉が付着して当該製品との接続部分で異常発熱した可能性も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
14	A202300848 令和5年10月10日(群馬県) 令和5年12月26日	リチウム蓄電池	GL-05	株式会社ソーラーファクトリー	(火災) 事業所の休憩所で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、輸入事業者から購入した販売代理店が、社内のプレハブ建て休憩所内に設置しており、屋根上に設置された太陽光パネルに接続し、充電して使用されていた。 ○当該製品は防犯カメラの電源として使用されていたが、事故発生の2日前から防犯カメラは停止していた。 ○当該製品は確認することができなかった。 ●当該製品は、確認することができず、事故発生時の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
15	A202300885 令和3年9月14日(兵庫県) 令和6年1月11日	電動アシスト自転車	PA20CX	ヤマハ発動機株式会社	(重傷1名) 当該製品で下り坂を走行中、ブレーキを掛けたところ、転倒し、胸部を負傷した。	○当該製品に乗車して緩やかな下り坂の歩道を走行中、前ブレーキのみを少し掛けようとしたところ、制動力が強すぎてバランスを崩し、転倒したとの申出内容であった。 ○当該製品は、事故発生から2年以上が経過しており、その後も継続使用されていたことから、事故発生時の状態は不明であった。 ○取扱説明書には、「坂道ではブレーキを前後ともにかけて安全な速度で走行する。」旨、記載されている。 ●事故発生から時間が経過しており、事故発生時の詳細な状況が不明であったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
16	A202300892 令和5年11月8日(岐阜県) 令和6年1月12日	USBケーブル	A1856	Apple Japan 合同会社	(火災) 当該製品を使用してタブレット端末を充電中、当該製品を溶融し、周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、端末接続用のコネクター部の樹脂製外郭が溶融、焼損していた。 ○コネクターの端子ピンの一部に変色が認められた。 ○ケーブルは、機器側コネクター部の根元で芯線が断線していた。 ○コネクターの内部基板は、銅箔パターン等に溶融等の異常発熱の痕跡は認められなかったが、基板の実装面側付近に溶融したはんだと推定される金属粒が認められた。 ○当該製品を接続していたタブレット端末は、接続部に焼損、溶融等の異常は認められなかった。 ○ACアダプターに異常は認められず、出力電圧は正常であった。 ●当該製品は、コネクター部で異常発熱が生じ、焼損したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
17	A202301003 令和6年1月17日(千葉県) 令和6年2月9日	スピーカー(充電式)	JBL CHARGE3	ハーマンインターナショナル株式会社	(火災) 当該製品を他社製の充電ケーブルに接続して充電中、火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品から発煙し、周辺を溶融する火災が発生していた。	○当該製品は外観上、樹脂製外郭の一部が溶融、焼損していた。 ○バッテリーに内蔵されている角形リチウムポリマー電池セルはアルミラミネートフィルム外装が焼損し、電極体が膨張して、折れ曲がっていた。 ○バッテリーの保護回路基板上に焼損が認められた。 ○メイン基板は汚損し、基板上のICが短絡故障していた。 ○その他の基板類及び電気部品に焼損は認められなかった。 ○事故発生時に当該製品の充電に使用していた純正ACアダプター及び他社製USBケーブル(事業者名、型式等は不明)に焼損は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
18	A202301007 令和6年1月26日(埼玉県) 令和6年2月13日	除湿乾燥機	KIJD-150	アイリスオーヤマ株式会社	(火災) 当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損し、周辺を溶融する火災が発生していた。	○当該製品の焼損は著しく、樹脂製外郭は底面部分の一部を残して焼損及び溶融していた。 ○電源基板は、全体的に著しく焼損し、基板上の一部の電子部品が確認できなかったが、確認できた銅箔パターンに溶融は認められず、電流ヒューズは切れていなかった。 ○ヒーターに出火の痕跡は認められなかった。 ○除湿ローターは著しく焼損して複数の箇所で破断していた。 ○電源コードは製品内部で断線し、断線部に溶融痕が認められたが、焼損が著しい箇所からは離れていた。 ○操作基板、冷却ファンモーター等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品内部から出火したものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
19	A202301008 令和5年12月4日(神奈川県) 令和6年2月13日	電気掃除機(自走式)	R780060	アイロボットジャパン合同会社	(火災) 当該製品に他社製のバッテリーを接続して充電中、異臭がしたため確認すると、当該製品の充電台を焼損する火災が発生していた。	○事故発生時、当該製品の本体には非純正バッテリーが装着された状態で、付属の充電台及びACアダプターに接続されていた。 ○当該製品本体及びACアダプターに焼損は認められなかったが、充電台は外観上、樹脂製外郭の天面が溶融して、変形が認められた。 ○充電台は、内蔵の基板において、DCジャックと基板を接続する内部配線の接続部及びダイオードのはんだ付け部を中心に著しく焼損しており、近傍のトランジスターも焼損していた。 ○当該製品に装着されていた非純正バッテリーの外観に焼損は認められなかったが、当該製品に装着された時期等の詳細については確認できなかった。 ○取扱説明書には、「発熱、出火等の原因になるため、純正のバッテリーを装着して使用する。」旨、記載されている。 ●当該製品は、付属の充電台内部の基板上で異常発熱が生じて焼損したものと推定されるが、当該製品に装着されていた非純正バッテリーの影響による可能性も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
20	A202301019 令和6年1月9日(愛知県) 令和6年2月15日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	KKS-0984(小泉成器株式会社ブランド)	株式会社千石(小泉成器株式会社ブランド)	(火災、死亡1名) 当該製品及び建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。	○当該製品は、同事業者製の電気ストーブとともに出火元と考えられる部屋から発見されたが、事故発生時に使用されていたかは不明であった。 ○当該製品は、焼損が著しく、アルミ製反射板が溶融、樹脂製外郭及び部品は焼失していた。 ○電源スイッチは、接点部に出火した痕跡は認められなかったが、樹脂製部品が焼失して事故当時にスイッチが入っていたか確認ができなかった。 ○電源コード、ヒーター、転倒時オフスイッチ、首振りモーター等電気部品は、ほぼ残存しており、出火した痕跡は認められなかった。 ○フィルムコンデンサーは焼失して、確認ができなかった。 ●当該製品は、外部からの延焼により焼損した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があり、事故発生時の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A20231020と同一事故)
21	A202301020 令和6年1月9日(愛知県) 令和6年2月15日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	不明(小泉成器株式会社ブランド)	株式会社千石(小泉成器株式会社ブランド)	(火災、死亡1名) 当該製品及び建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。	○当該製品は、同事業者製の電気ストーブとともに出火元と考えられる部屋から発見されたが、事故発生時に使用されていたかは不明であった。 ○当該製品は、焼損が著しく、アルミ製反射板が溶融、樹脂製外郭及び部品は焼失していた。 ○電源スイッチは、接点部に出火した痕跡は認められなかったが、樹脂製部品が焼失して事故当時にスイッチが入っていたか確認ができなかった。 ○ヒーター、転倒時オフスイッチ、首振りモーター等の残存する電気部品に出火した痕跡は認められなかった。 ○電源コード、電源プラグ、フィルムコンデンサー及びバリスターは焼失して確認ができなかった。 ●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があり、事故発生時の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202301019と同一事故)
22	A202301021 令和5年12月26日(京都府) 令和6年2月15日	電動車いす(ハンドル形)	WHILL Model S	WHILL株式会社	(重傷1名) 当該製品を使用中、道から外れ、転倒、負傷した。	○使用者は、晴れた日に当該製品を使用して、川沿いの土手の上にある道を走行していたところ、道から外れて川へ転落し、右腰骨と鎖骨を骨折した。 ○当該製品は、ハンドル操作方式4輪タイプの電動車いすで、最高速度が時速6km、右側のアクセルレバーを握ると前進し、左側のアクセルレバーを握ると後進する仕様であった。 ○当該製品は、使用者が継続使用しているため、確認できなかった。 ○当該製品を販売した代理店によれば、事故発生後に点検したところ、電気系統(電源ON/OFF、前照灯、尾灯、ホーン、バッテリー残量表示ランプ及び速度調整つまみ)並びに駆動系統(前進後進、左右の旋回及びホイールアライメント)に異常は認められなかったとのことであった。 ●当該製品の確認ができず、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
23	A202301035 令和6年1月31日(神奈川県) 令和6年2月20日	イヤホン(コードレス式、マイク付、リチウムイオン バッテリー内蔵)	LBT-TWS10	エレコム株式会社	(火災) 当該製品を他社製のUSBケーブルを接続して充電中、異音がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品の充電用ケースは外観上、樹脂製外郭に亀裂、破損等の異常は認められなかった。 ○充電用ケースに内蔵されているリチウムイオン電池セルは、焼損した負極銅箔の一部が確認できたが、詳細は確認できなかった。 ○充電用ケース内部のその他の電気部品、イヤホン2個及び事故発生時に充電に使用されていたUSBケーブル(事業者名、型式等不明)に焼損等の出火の痕跡は認められなかった。 ○事故発生時に充電に使用されていたACアダプター(事業者名、型式等不明)は詳細が確認できなかった。 ●当該製品は、充電用ケースに内蔵されているリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの詳細が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
24	A202301076 令和6年2月27日(静岡県) 令和6年3月5日	リチウム電池内蔵充電器	CIO-MB20W-5000-MAS	株式会社CIO	(火災) 当該製品で携帯電話機(スマートフォン)を充電中、当該製品を溶融する火災が発生した。	○当該製品は、樹脂製外郭が焼損、溶融し、リチウムポリマー電池セルが内蔵された部分に膨らみが認められた。 ○電池セルは焼損が著しく、外装フィルムが焼失しており、内部の電極体は焼損し、正極板は約半分が焼失していた。 ○基板はほとんど焼損しておらず、出火の痕跡は認められなかった。 ○ワイヤレス充電コイルに出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
25	A202301100 令和6年3月3日(神奈川県) 令和6年3月12日	携帯電話機(スマートフォン)	SC-56B(株式会社NTTドコモブランド)	サムスン電子ジャパン株式会社(株式会社NTTドコモブランド)	(火災) 宿泊施設で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品を事業者名等不明の充電器に接続して当該製品の電源ボタンを押したところ、煙と火花が出たとの申出内容であった。 ○当該製品は外観上、ディスプレイのガラスが一部破損し、樹脂製背面カバーが破損して上側の1/4程度のみ残存していたが、残存する背面カバーの破片に溶融、焼損は認められなかった。 ○当該製品内部は、バッテリー収納部を中心に焼損しており、リチウムイオン電池セルが著しく焼損して、残存した負極銅箔の複数箇所に破損が認められた。 ○当該製品は数か月前に使用者が知人から譲渡された中古品であり、入手後に使用者が落下させて画面が破損したほか、事故発生前日には電源をオンすることができなかったとの申出内容であったが、落下させた時期については不明であった。 ○当該製品に接続されていた充電器は確認できなかった。 ○取扱説明書には、「背面カバーは取り外せない。取り外そうとしない。火災、やけど、けがなどの原因となる。」旨、記載されている。 ●当該製品は、樹脂製背面カバーが取り外された状態でバッテリーが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
26	A202301103 令和6年2月1日(東京都) 令和6年3月12日	加湿器(超音波式)	KMWV-301C	株式会社ドウシシャ	(火災) 当該製品をコンセントに接続していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、事故発生の4か月前から電源が入らなくなっており、その後、電源スイッチがオンか不明の状態 で電源プラグをコンセントに接続したまま放置されていた。 ○当該製品の樹脂製外郭は著しく焼損し、内部の電気部品が露出していた。 ○電源基板は一部焼損し、一次側の電源入力部周辺の銅箔パターン及び電子部品が一部確認できなかったが、電流ヒューズは切れていなかった。 ○電源コードがプッシング付近で断線しており、断線部には溶融痕が認められた。 ○その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○取扱説明書には、「火災の原因になるため、異常時は電源プラグを抜き、使用を停止する。」旨、記載されている。 ●当該製品は、電源基板から出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
27	A202301157 令和6年3月7日(埼玉県) 令和6年3月26日	リチウム電池内蔵充電器	A35	明誠株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は外観上、樹脂製外郭に焼損が認められ、溶融及び変形していた。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セル2個は、焼損していた。 ○内蔵の基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○事故発生時、当該製品に接続されていた他社製ACアダプター及び事業者名、型式等不明のUSBケーブルに出火の痕跡は認められず、ACアダプターの出力に異常は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
28	A202301158 令和6年3月9日(神奈川県) 令和6年3月26日	リチウム電池内蔵充電器	A35	明誠株式会社	(火災) 当該製品をかばんに入れていたところ、当該製品を溶融し、周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は外観上、樹脂製外郭に焼損が認められ、著しく溶融及び変形していた。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セル2個は原形をとどめていたが、内部の電極体が著しく焼損していた。 ○内蔵の基板は確認できなかった。 ○事故発生時、当該製品は事業者名、型式等不明のUSBケーブルのみ接続された状態であったが、当該USBケーブルの詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
29	A202301167 令和6年3月20日(兵庫県) 令和6年3月29日	太陽電池モジュール(太陽光発電システム用)	PVM-B10145	株式会社日本産業	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品を含む太陽電池モジュール40枚が1つのパワーコンディショナに3系統で結線され、当該製品のパネルの一部に穴が空き、直下の野地板が焼損していた。 ○当該製品が接続されていた系統以外のケーブル等に異常は認められなかった。 ○当該製品のマイナス側ケーブル及びその近辺のケーブルが断線し、断線部先端に溶融痕が認められた。 ○ケーブルの断線部付近が半断線し、素線に溶融痕が認められた。 ○端子ボックスに出火の痕跡は認められなかったが、モジュール本体に一部穴空きが認められた。 ●当該製品は、接続ケーブルの半断線により異常発熱して短絡、出火した可能性が考えられるが、ケーブルが半断線した原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
30	A202400033 令和6年2月10日(東京都) 令和6年4月8日	リチウム電池内蔵充電器	CIO-MB65W2C1A-20000	株式会社CIO	(火災) 当該製品を充電後、異音とともに当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品を、USBケーブルを介してACアダプター付きUSB充電器で充電した後、当該製品から異音が生じて、焦げ臭いにおいがした。 ○当該製品は外観上、焼損は認められなかったが内部の一部がすすで汚損し、樹脂製外郭の角が損傷していた。 ○メイン基板は、電解コンデンサの封口部が外れて、焼損した内部素子が飛び出していたが、基板上のその他の電子部品に外観上の異常は認められなかった。 ○当該製品内部のその他の電気部品及びUSBケーブルに焼損は認められなかった。 ○事故発生前に当該製品の充電に使用していたACアダプター付きUSB充電器の詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、メイン基板上の電解コンデンサーが異常発熱して焼損したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
31	A202400073 令和6年4月7日(東京都) 令和6年4月22日	電動アシスト自転車	EB5.8-FD-B206ALR-B	サイモト自転車株式会社	(火災、軽傷2名) 当該製品のバッテリーを充電中、当該製品のバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が軽傷を負った。	○事故発生場所の壁コンセントには当該製品付属のACアダプター及び他社製ACアダプターが接続されていたが、事故発生時にどちらのACアダプターを使用して当該製品のバッテリーを充電していたのかは不明であった。 ○当該製品のバッテリーは外観上、樹脂製外郭が著しく焼損して、原形をとどめていなかった。 ○バッテリーに内蔵されているリチウムイオン電池セル7個は大部分が焼失していた。 ○バッテリーの保護回路基板は、電子部品の脱落、基材の欠損、穴空き等の局所的な焼損は認められなかった。 ○バッテリーの表示基板は確認できなかったが、DCジャック等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○現場で確認された他社製のACアダプターのDCプラグは、当該製品バッテリーのDCジャックに接続可能であり、当該製品ACアダプターの出力電圧が29.4Vに対し、他社製ACアダプターの出力電圧は54.6Vで、当該製品の付属品よりも高い値であった。 ○バッテリーの本体表示には、「出火のおそれがあるため、バッテリーの充電をする場合は専用のACアダプターで充電する。」旨、記載されている。 ●当該製品は、バッテリーに内蔵されているリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
32	A202400080 令和6年4月15日(埼玉県) 令和6年4月23日	イヤホン(コードレス式、マイク付、リチウムポリマーバッテリー内蔵)	TE-D01q2	プレシードジャパン株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、充電ケース及びコードレス式イヤホン2個で構成され、充電ケースにはイヤホン充電用のリチウムポリマー電池セル、イヤホンにはリチウムイオン電池セルがそれぞれ内蔵されている。 ○当該製品の充電ケースは、バッテリーが内蔵されている周辺の焼損が著しく、樹脂製外郭が焼損して溶融及び破損し、内部の電池セルが露出していた。 ○充電ケースに内蔵されたバッテリーは、電池セルは著しく焼損していたが、保護基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○充電ケース内部の基板及びイヤホン等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○樹脂製充電ケースの残存部においては、全体的に傷が認められた。 ○当該型式品は、一部ロットでリコールが実施されており、当該製品はリコール対象ロットの販売時期に購入されたものであった。 ○事故発生以前に、当該製品を落下させたことがあったとの申出内容であった。 ●当該製品は、充電ケースに内蔵されたリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
33	A202400087 令和6年3月18日(神奈川県) 令和6年4月25日	リチウム電池内蔵充電器	C0509	明誠株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○事故発生時、当該製品は充電中であり、同時に当該製品からスマートフォン(事業者名、型式等不明)への充電にも使用されていた。 ○当該製品は、著しく焼損した基板のみが確認できた。 ○事故現場からは、著しく焼損したリチウムイオン電池セル、基板及びUSBケーブルのプラグ先端等の複数の焼損した電気部品が回収されたが、樹脂製部材等は完全に焼失しており、当該製品のものか特定できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
34	A202400097 令和6年4月20日(東京都) 令和6年4月30日	ポータブル電源(リチウムイオン)	689	明誠株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品から発煙する火災が発生した。	○当該製品は事故発生時、ベランダで他社製ソーラーパネルを接続して充電していた。 ○当該製品は外観上、天面の樹脂製部材が焼失し、胴体部の金属製部材に穴空きが生じる等して著しく損傷していた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セルは外装フィルムが焼失し、一部には封口部の開放又は外装缶の変形が認められ、著しく損傷していた。 ○制御基板、操作基板、表示基板及び保護回路基板は原形をとどめているものの著しく焼損しており、銅箔の損傷状態等、詳細は確認できなかった。 ○取扱説明書には、「ソーラーパネルで充電する場合は、出力電圧が12.6～18Vの間にあることを確認する。」旨、記載されていたが、事故発生時は最大出力電圧17.8Vのソーラーパネルが2枚直列接続されており、当該製品には最大で約35.6Vの電圧が印加されていた。 ○当該製品の制御回路、保護回路の仕様の詳細及び事故発生前の使用状況は不明であった。 ●当該製品は、仕様を超過する電圧で充電されていたため、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、事故発生前の詳細な使用状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
35	A202400102 令和6年4月10日(神奈川県) 令和6年5月2日	エアコン(室外機)	COH-N2220R	株式会社コロナ	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○事故発生時、室内機は、電源プラグがコンセントに接続されていたが、運転中ではなかったとの申出内容であった。 ○事故発生直後、室内機の風向板は閉じていた。 ○当該製品は樹脂製のファンガード、ファン等の樹脂製部材が焼失して著しく焼損し、周辺や天板上に大量の段ボールの燃えかすが散乱していた。 ○制御基板は著しく焼損し、電子部品の多くが脱落して銅箔パターンがはく離する等していたが、基材の欠損、穴空きは認められなかった。 ○ファンモーター、圧縮機、四方弁、膨張弁等の電気部品及び内部配線に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、制御基板の焼損が著しく、確認できない電子部品が多数あったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
36	A202400103 令和6年4月25日(埼玉県) 令和6年5月7日	リチウム電池内蔵充電器	C1010	明誠株式会社	(火災) 車両内で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は事業者名、型式等不明のリチウム電池内蔵充電器が接続された状態で、屋外駐車場に駐車していた車両内の助手席に事故発生の約2時間前から置かれており、事故発生日の天候は晴れであった。 ○当該製品は外観上、樹脂製外郭の大半が焼失していた。 ○内蔵されているリチウムポリマー電池セル2個は、内部の電極体が焼損して、穴空きが認められた。 ○制御基板に基材の穴空き等の出火の痕跡は認められなかった。 ○事故発生時、当該製品に接続されていた事業者名、型式等不明のリチウム電池内蔵充電器の樹脂製外郭は焼損していたが、詳細は確認できなかった。 ○取扱説明書には、「高温になる場所や直射日光が当たる場所で保管しない。」旨、記載されている。 ●当該製品は、内蔵されているリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
37	A202400117 令和5年9月17日(神奈川県) 令和6年5月10日	コンセント	NC-1506	株式会社ノア	(火災) 当該製品に電子レンジを接続して使用中、当該製品及び電子レンジの電源プラグを焼損する火災が発生した。	○当該製品の設置箇所である台所のブレーカーが切れたので確認すると、当該製品の2つある差込口のうち、他社製の電子レンジが接続されていた差込口において、差込口の片極に焼損が認められた。 ○接続されていた電子レンジの電源プラグは片極の栓刃及びその周辺が焼損し栓刃の先端に熔融が認められたが、両極の栓刃に変形は認められなかった。 ○当該製品は、確認できなかった。 ●当該製品は、他社製電子レンジを接続していた差込口において、片極の刃受金具が異常発熱し、焼損したものと推定されるが、当該製品が確認できなかったため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
38	A202400137 令和6年4月14日(埼玉県) 令和6年5月17日	除湿機	F-YHB100	松下エコシステムズ株式会社(現 パナソニック エコシステムズ株式会社)	(火災) 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品の焼損は著しく、樹脂製外郭は大部分が焼失していた。 ○電源コードは本体側のコードプロテクター付近から断線し、断線部から30cm程度が欠損しており、断線部には溶融痕が認められた。 ○除湿ローターは焼損しており、大部分が欠損していた。 ○電源基板は大部分が欠損しており、一部の電子部品のみが残存していた。 ○残存したモーター及びコンプレッサー等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、電源コードが本体側コードプロテクター付近で断線し、異常発熱して出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
39	A202400143 令和6年5月11日(千葉県) 令和6年5月21日	リチウム電池内蔵充電器	GH-BTG100	株式会社グリーンハウス	(火災) 当該製品を充電中、異音とともに当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は外観上、本体正面の樹脂製外郭が著しく焼損、溶融していた。 ○内蔵されているリチウムポリマー電池セル2個はいずれも焼損し、内部の電極体は正極アルミ箔及びセパレーターが焼失し、著しく焼損した負極銅箔にも一部焼失が認められた。 ○基板に著しい焼損等の出火の痕跡は認められなかった。 ○事故発生時に当該製品に接続されていた他社製ACアダプター及び事業者名、型式等不明のUSBケーブルの動作に異常は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった	
40	A202400177 令和6年5月19日(東京都) 令和6年5月29日	扇風機(充電式、携帯型)	HF316GY_NO	株式会社ニトリ	(火災) 事務所で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品はファン部分とバッテリー部分が分離可能で、バッテリー部分はモバイルバッテリーとしても使用できる充電式の携帯型扇風機である。 ○当該製品はリチウムイオン電池セルが内蔵されているバッテリー部分の焼損が著しく、樹脂製外郭が溶融して充電スタンドと一体となり、電池セルが露出した状態となっていた。 ○電池セルは外観上、大きなへこみや傷等は確認できなかったが、焼損が著しく、樹脂製外装が焼失しており、内部の電極体は負極銅箔のみ残存していた。 ○バッテリー部分に内蔵されている充放電制御基板及び内部配線等の電気部品は、確認できなかった。 ○ファン部分及び充電スタンドに出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品は、他社製ACアダプターを接続した当該製品付属の充電用スタンドに接続して常時充電しながら使用しており、夏の暑いときには持ち出して使用することもあったとの申出内容であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火した可能性が考えられるが、電池セルの焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
41	A202400237 令和6年5月10日(茨城県) 令和6年6月17日	加湿器(ハイブリッド式)	UHK-500	アイリスオーヤマ株式会社	(火災) 工場で当該製品を使用 中、当該製品及び周辺を 焼損する火災が発生し た。	○当該製品は、工場の温室を一定の湿度に保つ目的で設置され、3年間終日通電して動作させていたところ、当該製品及び温室が著しく焼損して焼け落ちた。 ○当該製品は、2個の延長コードを介して電源が取られており、当該製品が接続されていた延長コードには他社製ファン(事業者及び型式不明)が接続されて、タップ部は当該製品の背面に置かれ、当該製品上部の網棚の上に他社製ファンが置かれていた。 ○当該製品は、著しく焼損し、電源プラグ、電源基板等、残存する電気部品に出火の痕跡は認められず、送風ファン等、一部の電気部品は確認できなかった。 ○当該製品及び他社製ファンを接続していた延長コードのタップ部は、電源線につながる電極板の両極に溶断及び溶融痕が認められた。 ○他社製ファンは、電源プラグ片極の栓刃の先端半分が焼失していたが、本体及び電源コードに出火の痕跡は認められなかった。 ○壁コンセントに接続した延長コードは電源コード中間部で断線し、断線部に溶融痕が認められたが、当該箇所は通常の使用において外力が加わる位置ではなかった。 ●当該製品の確認できた電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない電気部品があり、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
42	A202400260 令和6年6月1日(東京都) 令和6年6月21日	運動器具(振動トレーニングマシン)	FAV5019	アルインコ株式会社	(火災) 施設で当該製品を使用 中、当該製品及び周辺を 焼損する火災が発生し た。	○当該製品本体はACインレット部が焼損し、内部の電気部品にはさすが付着していたが、同等品の電源コード及びACインレットを接続して動作確認したところ、動作に異常は認められなかった。 ○電源コードは、ソケット内部にある嵌合部で端子金具が破断し、周囲の樹脂が焼損していた。 ○事故発生1か月前からACインレット部ががたつき、事故発生1週間前から電源コードソケット部が差し込みにくくなり、電源がオンにならないことがあったが、ソケット部を何度か抜き差しして継続使用していたとの使用者からの申出内容であった。 ○取扱説明書には、「当該製品が正常に動作しないときや異常を感じたときは、直ちにコンセントから電源プラグを抜き、使用を中止する。」旨、記載されている。 ●当該製品は、電源コードソケット内部にある端子金具の嵌合部で接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定されるが、当該箇所の詳細を確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
43	A202400275 令和6年6月11日(埼玉県) 令和6年6月26日	喫煙器具(充電式、たばこカートリッジ加熱式)	C1502	双日株式会社	(火災) 当該製品を充電中、火災 警報器が鳴動したため確 認すると、当該製品及び 周辺を焼損する火災が発 生していた。	○当該製品は全体的に焼損し、樹脂部品はほぼ焼失していた。 ○内蔵の円筒形リチウムイオン電池セルの焼損は著しく、外装缶が開裂して焼損した電極体が露出していた。 ○制御基板は確認できなかった。 ○当該製品は所有者が知人から譲渡された品であり、譲渡前も含めた使用状況は不明であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し出火したものと推定されるが、焼損が著しく、事故発生前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
44	A202400282 令和5年11月23日(東京都) 令和6年6月27日	靴(ブーツ)	G45329 B14509	シャネル合同会社	(重傷1名) 神社で当該製品を履いて歩行しようとしたところ、転倒し、負傷した。	○使用者が当該製品を履いて歩行しようとしたところ、当該製品の両足のスライダ引手同士が引っ掛かり、後方に転倒したとの申出内容であった。 ○当該製品は、着用するためのファスナーが当該製品の内くるぶし側に備わっており、スライダ引手の形状は左右対称にCを重ねた形状であった。 ○当該製品は外観上、異常は認められず、スライダ引手に変形は認められなかった。 ○ファスナーを閉じる際、上端まで閉じた状態ではスライダ引手は下向きとなったが、上端まで閉じていない状態ではスライダ引手がファスナーを覆うカバーに引っ掛かり、接地面に対して水平方向に起き上がった。 ○ファスナーを上端まで閉じた状態で足をすりながら歩行したところ、スライダ引手同士は絡まらなかったが、ファスナーを上端まで閉じていない状態で足をすりながら歩行したところ、スライダ引手同士が絡まった。 ○事故発生時、当該製品のファスナーを上端まで閉じていたか不明であった。 ●当該製品は、両足のファスナーのスライダ引手が絡まったことで事故に至った可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
45	A202400283 令和6年5月20日(神奈川県) 令和6年6月27日	スピーカー(充電式)	JBL FLIP5	ハーマンインターナショナル株式会社	(火災) 当該製品を他社製のUSBケーブルに接続して充電中、異音が生じたため確認すると、当該製品内部から発煙し、周辺を汚損する火災が発生していた。	○当該製品は外観上、樹脂製外郭の一部が溶融していた。 ○バッテリーに内蔵のリチウムイオン電池セル2個の内部の電極体はいずれも著しく焼損し、一方の電池セルの外装缶にへこみが認められたが、外装缶のへこみ位置に対応する当該製品の外郭に著しい損傷は認められなかった。 ○メイン基板、保護回路基板等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○事故発生時に当該製品に接続されていた他社製ACアダプター及び他社製USBケーブルに焼損は認められず、動作に異常は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
46	A202400294 令和6年5月16日(東京都) 令和6年6月28日	スピーカー(充電式)	JBL FLIP6	ハーマンインターナショナル株式会社	(火災) 飲食店で当該製品を他社製のUSBケーブルに接続して充電中、異音が生じたため確認すると、当該製品内部から発煙し、周辺を汚損する火災が発生していた。	○当該製品は外観上、焼損等の異常は認められなかった。 ○バッテリーに内蔵のリチウムイオン電池セル2個は、内部の電極体が著しく焼損しており、原形をとどめていなかった。 ○メイン基板、保護回路基板等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○事故発生時に当該製品に接続されていた他社製ACアダプター及び他社製USBケーブルに焼損は認められず、動作に異常は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
47	A202400298 令和6年6月14日(長野県) 令和6年7月1日	携帯電話機(スマートフォン)	SC-06D(株式会社 NTTドコモブランド)	サムスン電子ジャパン株式会社(株式会社NTTド コモブランド)	(火災) 当該製品を充電中、異音 がしたため確認すると、当 該製品及び周辺を焼損す る火災が発生していた。	○当該製品は外観上、前面の液晶画面及び背面の樹脂製カバーが溶融、変形し、外郭に多数の亀裂等の傷が認められた。 ○内蔵のバッテリーは、制御基板が脱落し、内部の角形リチウムイオン電池セルはアルミ製外装缶が膨張及び開裂し電極体が露出 しており、防爆弁が作動していた。 ○電池セル内部の電極体は、正極アルミ箔及びセパレーターが焼失しており、負極銅箔は防爆弁周辺の一部分が損傷していた。 ○バッテリー以外の電気部品から出火した痕跡は認められなかった。 ○当該製品は約12年前に購入したもので、事故発生以前にバッテリーの交換は行われておらず、過去に複数回落下させたことがあ るとの申出内容であった。 ○取扱説明書には、「強い力や衝撃を与えたり、投げたりしない。火災、やけどの原因になる。」旨、記載されている。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か 否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
48	A202400319 令和6年6月3日(神奈川県) 令和6年7月9日	リチウム電池内蔵充電器	A1624021	アンカー・ジャパン株式会 社	(火災) 当該製品をかばんに入れ ていたところ、異臭がした ため確認すると、当該製 品を溶融する火災が発生 していた。	○当該製品は、樹脂製外郭表面に多数の傷があり、可動式ACプラグの栓刃が設置された面の一部が溶融し、嵌合部には隙間が生 じていた。 ○樹脂製外郭の溶融が認められた箇所の内側は、内蔵の円筒形リチウムイオン電池セルの封口部側が位置しており、当該箇所の 周辺にすすが付着していた。 ○電池セルは、封口部が焼損していたが、内部の電極体は、正極アルミ箔、負極銅箔及びセパレーターが残存しており、封口部側 の端部はいずれもわずかに損傷していた。 ○基板の一部の電子部品に変色及び溶融が認められたが、ヒューズは切れておらず、基材に穴空き、欠損等の異常は認められな かった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不 明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
49	A202400321 令和6年6月27日(神奈川県) 令和6年7月9日	サーキュレーター	CR1800	SIS株式会社	(火災) 店舗で当該製品を使用 中、当該製品を焼損する 火災が発生した。	○当該製品は、店舗の入口にある大型水槽の循環装置を冷却するために設置されており、24時間毎日連続運転をしていた。 ○当該製品は配水管のL字部分の上にファンを下向きにして寝かせた状態で置かれており、固定せずに設置して使用していたが、 事故発生後の当該製品の発見時は地面に落ちた状態であった。 ○電源コードは複数箇所で断線しており、断線部の溶融痕も複数箇所で見られた。 ○ファンモーターに出火の痕跡は認められなかった。 ○ロータリースイッチや内部配線の一部は欠損しており確認できなかった。 ○取扱説明書には、「傾けたり、不安定な場所に置かない。落下や転倒により、けがやけどの原因になることがある。」旨、記載され ている。 ●当該製品は、電源コードが半断線し異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことか ら、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
50	A202400322 令和6年6月21日(東京都) 令和6年7月9日	ポータブル電源(リチウムイオン)	EFDELTA1300-JP	EcoFlow Technology Japan株式会社	(火災) 車両内で異音が生じたため確認すると、当該製品から発煙しており、車両を停止して車外に出したところ、当該製品を焼損する火災が発生した。	○事故発生時、当該製品で事業者名、型式等不明の電動工具を充電中であった。 ○当該製品は外観上、樹脂製外郭がほぼ焼失しており、原形をとどめていなかった。 ○内蔵のリチウムイオン電池セル140個はいずれも著しく焼損していた。 ○基板類は焼損していたが、基材に穴空き、欠損等の局所的な焼損は認められなかった。 ○当該製品で充電していた電動工具の焼損状況は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
51	A202400326 令和6年6月5日(その他) 令和6年7月10日	コーヒーメーカー	ADC-A061	タイガー魔法瓶株式会社	(重傷1名) 当該製品を使用後、当該製品からフィルターを抜き取ったところ、コーヒーがかかり、火傷を負った。	○使用者は、当該製品を使用後、フィルターを本体から抜き取った際に、フィルター内に残っていたコーヒーが足にかかり、火傷を負ったとの申出内容であった。 ○当該型式品は、サーバーを所定の位置まで押し込むとレバーが作動してフィルター下部の開閉弁が開き、フィルターを通ったコーヒーがサーバー内へ落ちる構造であった。 ○当該製品は使用者へ返却されたため確認できなかった。 ○同等品を用い、サーバーを本体の正常位置まで押し込み、フィルターに水を入れたところ、フィルター内に水は残らなかったが、サーバーの押し込みが不足した状態で水を入れたところ、フィルター内に水が残った。 ○取扱説明書には、「サーバーは奥まで確実にセットする。」「冷めてからフィルターを取り出す。」旨、記載している。 ●当該製品はサーバーが正常な位置まで押し込まれなかったことで開閉弁が開かなかった可能性も考えられるが、当該製品を確認できず、製品起因であるか否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
52	A202400338 令和6年6月16日(千葉県) 令和6年7月11日	リチウム電池内蔵充電器	A1217	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、異音とともに火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は外観上、樹脂製外郭が全体的に著しく焼損し、内部の基板及びリチウムポリマー電池セルが露出しており、基板からUSB Type-Cコネクタが脱落していた。 ○電池セルは、アルミラミネートフィルム外装が開裂しており、内部の電極体は正極アルミ箔及びセパレーターが焼失し、残存する負極銅箔の一部に欠損が認められた。 ○基板は、基材に欠損及び穴空きはなく、出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
53	A202400350 令和6年7月7日(神奈川県) 令和6年7月16日	リチウム電池内蔵充電器	ECMMB80PD	株式会社ノジマ	(火災) 当該製品を充電後、当該製品を鞆に入れていたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○事故発生時、当該製品は充電終了後約5時間が経過しており、何も接続されていない状態であった。 ○当該製品は外観上、樹脂製外郭の一部が溶融して、焼失していた。 ○内蔵されている2個のリチウムイオン電池セルのうち、1個は外装フィルムが焼失し、封口体が外れて電極体が噴出しており、確認できた負極銅箔に欠損及び穴空きが認められた。 ○基板及び内部配線に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
54	A202400352 令和6年7月4日(長野県) 令和6年7月17日	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)	VBPC255GS2	三洋電機株式会社	(火災) 店舗で当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、金属製前面パネルが固定されていた4か所のねじが全て外れ脱落しており、内部は金属製外郭内側の上部にすずが付着し、樹脂製保護シート上部の一部分が溶融して変形していた。 ○出力基板上のフィルムコンデンサーに著しい焼損が認められ、樹脂製外郭が焼失し内部素子が脱落していたほか、フィルムコンデンサーを中心に周辺の電気部品及び基材の一部に焼損が認められた。 ○他の基板等、その他の電気部品に焼損等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、フィルムコンデンサーが短絡して出火したものと推定されるが、事故発生前の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
55	A202400366 令和6年7月4日(兵庫県) 令和6年7月19日	生ごみ処理機	ECO-V30	日立多賀テクノロジー株式会社(現 日立アプライアンステクノサービス株式会社)	(火災) 当該製品を使用中、発煙に気付き確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。	○当該製品は、樹脂製ふた及び樹脂製背面外郭が著しく焼損していた。 ○メイン基板は著しく焼損し、銅箔パターンが焼失して実装された電気部品の多くが脱落しており、冷却用アルミ製ヒートシンクが塊状に溶融していた。 ○ヒーターの端子接続部、ヒーター発熱部、攪拌モーター、内部配線等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、メイン基板の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
56	A202400367 令和6年7月8日(東京都) 令和6年7月19日	ACアダプター	ACDC-PD0465BK	エレコム株式会社	(火災) 商業施設で当該製品を接続していた延長コードからハサミで取り外そうとしたところ、火花が発生し、当該製品を焼損する火災が発生した。	○事業者によれば、使用者が当該製品を他社製延長コードから取り外そうとしたが、外せなかったため、当該製品のプラグ部分に金属製ハサミを挿入して外そうとしたところ、スパークが生じたとの申出内容であった。 ○当該製品は、確認できなかった。 ●当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
57	A202400371 令和6年7月5日(滋賀県) 令和6年7月19日	リチウム電池内蔵充電器	MBSCF8000FT	株式会社磁気研究所	(火災) 店舗の駐車場で車両内に置いていた当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は充電用ソーラーパネルを備えており、炎天下の乗用車のダッシュボード上に置いてソーラーパネルで約2時間充電中であった。 ○当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルの電極端子側が開口し破裂していた。 ○電池セルは、開口部以外の外郭に損傷はなく、電極体に欠損や溶融痕等の異常は認められなかった。 ○ソーラーパネルに出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品の充放電用USBコネクタには何も接続されていなかったが、コネクタ部を含む制御基板の確認ができなかった。 ○取扱説明書に、「直射日光の強い場所や炎天下の車内など高温の場所で使用、放置しない。変形、故障の原因となる。」旨、記載されている。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが内圧上昇による膨張で破裂し、噴出した可燃性ガスに引火したものと推定されるが、当該製品の制御基板を確認することができず、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
58	A202400376 令和6年5月25日(埼玉県) 令和6年7月22日	リチウム電池内蔵充電器	A1263016	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を延長コードに接続して充電中、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は外観上、樹脂製外郭が著しく焼損しており、内蔵のリチウムイオン電池セルが露出していた。 ○内部の基板は、焼損していたが、基材の穴空き及び銅箔パターンの焼失等、出火の痕跡は認められなかった。 ○3個の電池セルは焼損し、外装缶に破損及び変形は認められなかったが、内部の電極体は著しく焼損していた。 ○充電する際に使用されていた、USBポート付き延長コードは廃棄されており、確認することができなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
59	A202400386 令和6年7月3日(兵庫県) 令和6年7月24日	リチウム電池内蔵充電器	HWB-10KS	浜田電機株式会社	(火災) 当該製品を充電中、異音がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は、外郭樹脂の大半が焼失して残存しておらず、落下、衝撃等の痕跡の有無は確認できなかった。 ○電池セルは全体的に焼損しており、外周の一部が飛散していた。 ○内部基板に穴空きや欠損は認められなかった。 ○当該製品は、事故発生の約1週間前からワイヤレス充電用のマグネット面が全体的に膨らみ、カバーが外れそうな状態であったが、異常な発熱はなく、充電できていたので、使用者はそのまま当該製品を使用していた。 ●当該製品は、内蔵のリチウム電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、事故発生以前の状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
60	A202400399 令和6年7月19日(滋賀県) 令和6年7月29日	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)	YLE-TL55C(株式会社LIXILブランド)	三洋電機株式会社(株式会社LIXILブランド)	(火災) 異音とともに当該製品から発煙する火災が発生した。	○屋外に設置された当該製品から異音がして発煙が確認された。 ○当該製品内部のAC出力基板上のフィルムコンデンサーが焼損していた。 ○AC出力基板のフィルムコンデンサー以外の電気部品に異常は認められなかった。 ○事故発生現場の近隣地域では、事故発生当日に雷注意報が発令されていた。 ●当該製品は、基板上のフィルムコンデンサーが焼損、発煙したものと推定されるが、コンデンサーの焼損が著しく、落雷の影響も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
61	A202400421 令和6年7月20日(兵庫県) 令和6年7月31日	電動アシスト自転車	不明	ブリヂストンサイクル株式会社	(火災) 当該製品のバッテリーを充電中、当該製品のバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品のバッテリーは、樹脂製外郭の一部が焼損していた。 ○バッテリーに内蔵のリチウムイオン電池セル30個のうち、バッテリー端子側に位置する電池セルの一部が著しく焼損していた。 ○BMS基板及び配線に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品のバッテリーは、約8年前に別の車体での使用時にバイクとの接触による交通事故があり、その際に車体本体は廃棄されたが、バッテリー部のみ当該製品に搭載して使用されていた。 ●当該製品は、バッテリーに内蔵されたリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
62	A202400422 令和6年7月3日(大阪府) 令和6年7月31日	リチウム電池内蔵充電器	PB-10000	株式会社ユベンディ	(火災) 当該製品をかばんに入れて自転車で行行中、異音が出たため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○使用者の通学時、自転車のハンドル左に掛けていたかばんのポケット部分に入れていた当該製品から出火した。 ○当該製品の焼損は著しく、外郭樹脂の大部分が焼失していたが、残存していた外郭樹脂の断片に、焼損、熔融は認められず、すずの付着も認められなかった。 ○内蔵のリチウムイオン電池セルは、焼損が著しく外装のアルミラミネートの一部が熔融し、電極体から離脱した状態であった。 ○メイン基板は2つに破断して、片方が焼損していたが、基材は残存しており、出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品を入れていたかばんは、非焼損部にタイヤとの摩擦痕等は認められなかったが、ポケット部分は著しく焼損しており、タイヤとの接触について確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルに外力が加わったため、異常発熱した可能性が考えられるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
63	A202400423 令和6年7月12日(長野県) 令和6年8月1日	バッテリー(リチウムイオン、スマートフォン用)	RM001-TK-XS	TKビズ株式会社	(火災) 当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、他社製スマートフォン用の非純正バッテリーであり、修理業者によって、スマートフォンのバッテリーが当該製品に交換された。 ○当該製品が内蔵されていたスマートフォンは中央部が膨張して、液晶画面及び背面のガラスが破損し、液晶画面の側面部と金属製外郭枠との間に隙間ができていた。 ○当該製品は、全体的に焼損しており、外装のアルミラミネートフィルムが開裂して制御基板が脱落し、内部の電極体は固着していた。 ○制御基板の基材、スマートフォン本体との接続配線及び接続コネクタの端子に、熔融、穴空き等の出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品が内蔵されていたスマートフォン本体の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202400567と同一事故)
64	A202400447 令和6年7月26日(大阪府) 令和6年8月7日	エアコン	F28KVV	ダイキン工業株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、床置き型エアコンで、電源は室外機から内外連絡線で供給される構造である。 ○当該製品は、事故現場で他社製エアコンと背中合わせに設置されており、いずれも著しく焼損していた。 ○当該製品は、焼損して熔融しており、熱交換器、ファンモーターと取付板、底面樹脂、制御基板等がばらばらの状態であった。 ○制御基板は著しく焼損し、大半の部品が脱落しており、詳細は確認できなかった。 ○端子盤は熔融して内外連絡線との接続端子はばらばらになっていたが、内外連絡線の接続部に異常は認められなかった。 ○ファンモーター及び2個あるステッピングモーターのうち1個に出火の痕跡は認められなかったが、残り1個のステッピングモーターは確認できなかった。 ○他社製エアコンは、事故発生時に電源プラグがコンセントに接続されていなかった。 ●当該製品の焼損は著しく、焼失して確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202400544と同一事故)

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
65	A202400477 令和6年6月24日(東京都) 令和6年8月16日	スピーカー(充電式)	A3101	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、発煙したため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は外観上、樹脂製外郭の下部が熱変形していた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セルは、内部の電極体が全体的に著しく焼損して大部分が焼失しており、残存していた負極銅箔に欠損及び穴空きが認められた。 ○メイン基板等、その他の電気部品に基材の欠損、溶融等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
66	A202400483 令和6年6月25日(奈良県) 令和6年8月19日	エアコン(窓用)	KAW-1984(小泉成器株式会社ブランド)(推定)	株式会社千石(小泉成器株式会社ブランド)	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○使用者は、事故発生日以前の2年間、当該製品を使用していなかった。 ○当該製品の焼損は著しく、外郭樹脂は全て焼失していた。 ○圧縮機及びファンモーターに出火の痕跡は認められなかった。 ○回収された電源コードの一部に溶融痕が認められた。 ○制御基板等、その他の電気部品は焼失して確認できなかった。 ●当該製品の焼損は著しく、事故発生時の詳細な状況等が不明であり、確認できない電気部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
67	A202400492 令和6年6月29日(大阪府) 令和6年8月21日	携帯電話機(スマートフォン)	iPhone 6s A1688	Apple Japan合同会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、使用者が家族から譲り受けたものであり、目覚まし時計として使用されていた。 ○外観上の焼損は認められなかったが、ディスプレイと金属外郭との間が開いていた。 ○内部にさすが付着しているものの、メイン回路基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○リチウムイオン電池セルは膨張し、外装のアルミラミネートにしわが認められた。 ○外郭のアルミ製筐体にわずかな変形が認められた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、事故発生日以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
68	A202400514 令和6年8月2日(大阪府) 令和6年8月27日	リチウム電池内蔵充電器	AT-MBA30P	株式会社コンピューケー ス・ジャパン	(火災、軽傷2名) 電車内で当該製品をリュック サックに入れていたところ、当該製品及び周辺を 焼損する火災が発生し、2 名が軽傷を負った。	○当該製品は、USB端子側の外装ケースが変形し、焼損していた。 ○本体内部のリチウムイオン電池セルが焼損し、電極体は噴出した状態であった。 ○充放電制御基板は確認できなかった。 ○事故発生当日、当該製品を入れたリュックサックは、日中、炎天下に置かれていた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
69	A202400519 令和6年8月9日(奈良県) 令和6年8月28日	リチウム電池内蔵充電器	T109	明誠株式会社	(火災) 飲食店で当該製品から発 煙する火災が発生した。	○使用者が飲食店に持ち込んだ当該製品が発煙した。 ○当該製品はメイン回路基板側の外郭に焼損が認められ、メイン回路基板は脱落していた。 ○リチウムイオン電池セルは本来の実装位置からメイン回路基板側に著しくずれており、熱膨張した痕跡が認められ、電極体の一部が焼失していた。 ○メイン回路基板に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、発煙したものと推定されるが、事故発生時の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
70	A202400529 令和6年8月6日(京都府) 令和6年8月30日	バッテリー(リチウムイオン、電動アシスト自転車用)	RPH0002	株式会社Luup	(火災) 倉庫で当該製品を保管 中、異音がしたため確認 すると、当該製品を焼損 する火災が発生していた。	○当該製品は、倉庫内でコンテナに積まれて保管された状態で出火した。 ○当該製品は、内部の中央付近に位置するリチウムイオン電池セル18個が開裂し、電極体が周辺に飛散していた。 ○当該製品の制御基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品から確認できたバッテリーのログデータに異常は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
71	A202400540 令和6年7月19日(神奈川県) 令和6年9月2日	エアコン	不明	東芝キヤリア株式会社 (現 東芝ライフスタイル株式会社)	(火災、軽傷1名) 当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。	○当該製品は、延長コード(事業者名、型式等不明)を介してコンセントに接続されていた。 ○当該製品の焼損は著しく、外郭等の樹脂製部品は大部分が焼失していた。 ○制御基板は半分以上焼失し、電源プラグの栓刃、端子台と制御基板間の内部配線は確認できなかった。 ○ファンモーター等、残存するその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品に接続されていた延長コードは、残存している芯線の複数箇所に溶融痕が認められ、刃受金具及び電源プラグは確認できなかった。 ○取扱説明書には、「延長コードを使用すると故障や火災の原因になる。」旨、記載されている。 ●当該製品に接続されていた延長コードが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、当該製品は焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
72	A202400550 令和6年8月3日(兵庫県) 令和6年9月3日	バッテリー(リチウムイオン、タブレット端末用)	IPADA2-BT	LINUXAS株式会社	(火災) 商業施設でタブレット端末を修理中、異音とともに当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品は事故発生日以前から既に膨張した状態であり、店舗でのバッテリー交換作業中に交換用の専用加熱器具で端末を温めていたところ出火した。 ○当該製品を内蔵していた他社製タブレット端末に出火の痕跡は認められなかった。 ○内蔵のリチウムイオン電池セル2個が焼損しており、片方の電池セルは、電極体の負極銅箔に周期的な穴空きが認められた。 ●当該製品は、リチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、事故発生日以前の詳細な状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
73	A202400590 令和6年8月14日(大阪府) 令和6年9月10日	スピーカー(充電式)	A3102	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 車両内で当該製品をシガーソケットに接続していたところ、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は、背面側及び底面側の樹脂製外郭が溶融して大きな穴空きが認められた。 ○メイン回路基板は、銅箔パターンに溶融痕等、出火の痕跡は認められなかった。 ○スピーカー部に焼損等の異常は認められなかった。 ○リチウムイオン電池セルの焼損は著しく、電極体は正極アルミ箔が焼失して負極銅箔のみ残存し、銅箔には欠損部が認められた。 ○当該製品は、購入後1年2か月の間、車内のグローブボックス上に常に置いて使用されていた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
74	A202400594 令和6年9月1日(兵庫県) 令和6年9月10日	扇風機	MSFX-20	株式会社MonotaRO	(火災) 当該製品から発火する火災が発生した。	○当該製品は半屋外施設であるゴルフ練習場に設置されていた。 ○当該製品はモーター部の樹脂製外郭が焼失していた。 ○モーター部側面の切替スイッチは確認できなかった。 ○モーター、配線等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○事業者に戻品された同構造品の一部において、切替スイッチの芯線の差し込みや芯線のはんだ量が不十分な製品が確認された。 ○取扱説明書には「屋外や雨水のかかる場所での使用はしない。」旨、記載されている。 ●当該製品は、切替スイッチ付近が異常発熱して出火したものと推定されるが、切替スイッチが確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
75	A202400616 令和6年8月7日(東京都) 令和6年9月18日	スピーカー(充電式)	A3105	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 飲食店で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○事故発生場所である店舗の従業員が出動した際に、店舗内のカウンターに置いてあった当該製品及び周辺が焼損しているのを発見した。 ○当該製品の樹脂製外郭は確認できなかった。 ○内蔵されているリチウムイオン電池セル2個のうち、1個の電池セルは電極体が噴出しており、内部の電極体が著しく焼損して大部分が欠損していた。 ○基板に穴空き等の出火の痕跡は認められなかった。 ○事故発生時、当該製品は何も接続されていない状態であった。 ●当該製品は、内蔵されているリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、事故発生時の状況が不明であるため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
76	A202400623 令和6年8月24日(神奈川県) 令和6年9月19日	ヘッドマウントディスプレイ	A8110	Pico Technology Japan株式会社	(火災) 当該製品を充電後、当該製品の電源を入れようとしたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品は外観上、左右にあるバッテリー搭載部の片側で樹脂製外郭が一部溶融しており、溶融していた側に内蔵するリチウムイオン電池セルが露出していた。 ○バッテリー搭載部から露出していた電池セルは、著しく焼損して膨張しており、電極体の外周部付近に欠損が認められた。 ○残り1個の電池セルは膨張していたが、焼損は認められなかった。 ○電池セルが露出していない側のバッテリー搭載部には、樹脂製外郭のツメ部分にわずかな変形が認められた。 ○メイン基板、バッテリー保護基板、内部配線等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
77	A202400663 令和5年10月15日(兵庫県) 令和6年10月1日	バッテリー(リチウムイオン、電動バイク用)	なし	株式会社シージェー・ピー ト	(火災) 当該製品を充電中、異臭とともに当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品を充電中に異音と異臭がしたため充電器を外して様子を見ていたところ、破裂音がして炎を噴き出した。 ○当該製品の銅板外郭は、上ふたと下箱の一部が変形していたが、下部の4隅と上部の4隅に変形は認められなかった。 ○当該製品内の全てのリチウムイオン電池セルは焼損が著しく、外装缶の封口部が開裂している電池セルが認められた。 ○制御基板は著しく焼損し、電界効果トランジスター(FET)等の電気部品の脱落と、銅箔パターンと配線の一部が焼失していた。 ○当該製品は2020年11月に中古品として入手したものであった。 ●当該製品は、内部のリチウムイオン電池セルから出火したものと推定されるが、焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定に至らなかった。	
78	A202400665 令和6年9月2日(東京都) 令和6年10月1日	リチウム電池内蔵充電器	A1261	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品に他社製ACアダプター及び事業者名、型式等不明のUSBケーブルを接続して充電中、当該製品から出火した。 ○当該製品は外観上、樹脂製外郭が著しく焼損していた。 ○内蔵されているリチウムポリマー電池セル内部の電極体は著しく焼損して、欠損及び穴空きが認められた。 ○充放電制御基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品の充電に使用していた他社製ACアダプター及び事業者名、型式等不明のUSBケーブルに出火の痕跡は認められず、当該ACアダプターの出力に異常は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵されているリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
79	A202400667 令和5年7月※日不明(広島県) 令和6年10月2日	容器(洗浄剤)	なし	ジョンソン株式会社	(重傷1名) 手袋を着用せずに当該製品を使用したところ、噴射口から垂れた液が手に付着し、皮膚炎を発症した。	○使用者によれば、素手で当該製品を使用したところ噴霧口から液が垂れて手につき、その後、湿しん及び皮むけが著しくなった。 ○当該製品は、使用者が廃棄しており、確認できなかった。 ○当該型式品は、カビの除去を目的にしたスプレー式の製品で、成分が次亜塩素酸塩と水酸化ナトリウムであり、pH13の強アルカリ性であった。 ○同等品の噴霧レバーをゆっくり引くとスプレーの勢いが劣るため、噴霧口から液が垂れ落ちた。 ○水平よりも上へ傾けてスプレーすると噴霧口から液が垂れ落ちた。 ○本体表示には、「目線より上にはスプレーしない。」、「使用時はゴム手袋を着用する。」、「皮膚についた場合は、ぬめり感がなくなるまで洗い流す。異常がある場合は、皮膚科に相談する。」旨、記載されている。 ●当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
80	A202400695 令和6年9月1日(静岡県) 令和6年10月7日	タブレット端末	iPad A1893	Apple Japan合同会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	○当該製品は外観上、正面から見て液晶画面の下側が本体から外れて浮いた状態であり、液晶ガラスは広範囲がひび割れ状態であった。 ○正面から見て上下に並べた内蔵のリチウムポリマー電池セル2個のうち、下側の電池セルが著しく焼損していたが、上側の電池セルはほとんど焼損していなかった。 ○内蔵のメイン基板は焼損しておらず、溶融等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
81	A202400723 令和6年9月16日(愛知県) 令和6年10月11日	延長コード	T-KST02-22430WH	エレコム株式会社	(火災) 宿泊施設で火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○壁コンセントに接続していた当該製品の可動式電源プラグ部が焼損していた。 ○電源プラグ部は、内部の金具が栓刃可動部近くで溶断していた。 ○電源コード部は、一部に被覆の焼損が認められたが、断線等の出火した痕跡は認められなかった。 ○当該製品のマルチタップ部には、負荷となる電気製品は接続されていなかった。 ○当該製品を接続していた壁コンセントの刃受金具等に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、電源プラグの栓刃可動部の金具間で短絡し出火したものと推定されるが、焼損が著しく、事故発生以前の詳細な状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
82	A202400738 令和6年9月28日(北海道) 令和6年10月16日	ポータブル電源(リチウムイオン)	EFDELTA1300-JP	EcoFlow Technology Japan株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が火傷を負った。	○当該製品は、原形をとどめておらず、樹脂製外郭も底面部以外全て焼失しており、内蔵のリチウムイオン電池セルが露出していた。 ○電池セルは焼損が著しく、内蔵の140個のうち2個は確認できず、下側に位置する電池セルよりも、上側に位置する電池セルの方で焼損が著しかった。 ○インバーター基板、AC基板等に欠損部分が多数認められた。 ○電源コードは、芯線の一部、電源プラグ等が欠損していたが、残存していた芯線に溶融痕は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと考えられるが、当該製品の焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
83	A202400762 令和5年4月28日(滋賀県) 令和6年10月24日	空気圧縮機	AP041034	株式会社ワールドツール	(火災) 当該製品を使用後、スイッチを入れたまま電源プラグを差して放置していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○使用者は、当該製品の電源を切らずに運転させた状態で、事故発生現場である作業所兼倉庫から帰宅した。 ○当該製品は、吐出管取付金具部が破断しており、金具から吐出管が外れていた。 ○モーター上部の樹脂製モーターヘッドカバーが焼失していた。 ○手動復帰型のサーモスタットの接点が溶着していた。 ○その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、連続運転状態であったモーターが異常発熱してモーターヘッドカバーが焼損し出火したものと推定されるが、事故発生以前の使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
84	A202400763 令和6年5月30日(兵庫県) 令和6年10月24日	空気圧縮機	AP041034	株式会社ワールドツール	(火災) 作業場で当該製品を使用後、スイッチを入れたまま電源プラグを差して放置していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品の電源プラグは、常時コンセントに接続されており、事故発生時、電源スイッチは入の状態だったと考えているとの申出内容であった。 ○当該製品は全体的に焼損しており、樹脂製部品、吐出管、電源スイッチ及び計器類が焼失していた。 ○モーターのステーター部には、溶融した金属製のモーターヘッド部が付着していた。 ○モーターに取り付けられている手動復帰型サーモスタットの作動状態及び接点の状態について確認できなかった。 ●当該製品は、モーターが異常発熱して周辺の部品が焼損し出火したものと推定されるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
85	A202400783 令和6年9月17日(大阪府) 令和6年10月29日	IH調理器	SIH-C224A	三化工業株式会社	(火災) 当該製品の上に置いていた可燃物を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、2か月前から使用されておらず、当該製品の上に可燃物が置かれており、使用者が就寝中に目が覚めて可燃物が焼損しているのを発見した。 ○事故発生直後に、ラジエントヒーターの電源スイッチを押したところ、加熱スイッチを押さなくてもラジエントヒーターが加熱動作した。 ○当該製品内部に出火の痕跡は認められず、IH及びラジエントヒーターの制御基板に腐食等の異常は認められなかった。 ○ラジエントヒーター用の操作基板において、基板カバーの汚れ及び銅箔の腐食等液体が浸入した痕跡が認められ、加熱スイッチは操作できない状態であり、接点部に異物の付着が認められた。 ○当該製品を安定化電源に接続し2日間の待機状態において、電源が勝手に入る現象の有無を確認した結果、当該事象は認められず、外部からのノイズ試験においても誤動作等の異常は認められなかった。 ○当該製品は、電源スイッチを押した後に加熱スイッチを1秒以上押さなければ加熱が開始されない仕様であった。 ○取扱説明書には、「燃えやすいものをヒーターの上に置かない。火災のおそれがある。」旨、記載されている。 ●当該製品は、ラジエントヒーターが加熱したため、トッププレート上の可燃物が燃えたものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
86	A202400815 令和6年3月15日(大阪府) 令和6年11月7日	バッテリー(リチウムイオン、ノートパソコン用)	AS10D31	東昇株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品を装着した他社製ノートパソコンの電源を投入したところ、異臭がしたためACアダプターをコンセントから抜いたが、当該製品から出火した。 ○当該製品内のリチウムイオン電池セル6個は、4個に異常は認められなかったが、2個の電極体は著しく焼損していた。 ○保護回路基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品を装着していたノートパソコンに出火の痕跡は認められず、動作に異常は認められなかった。 ○使用者は、2019年から2021年の間、ノートパソコンを家族に貸出しており、その期間中に家族がノートパソコンのバッテリーを当該製品に交換していた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	(A202301140と同一事故)
87	A202400835 令和6年9月22日(愛知県) 令和6年11月13日	リチウム電池内蔵充電器	A1277	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 車の警告音が鳴動したため確認すると、車内に置いていた当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品は、ドライブレコーダー2台及び防災ラジオが接続されており、ドライブレコーダーを24時間動作させるために使用していた。 ○当該製品は、リチウムイオン電池セル内蔵部の樹脂製外郭が約半分焼失しており、内蔵されている8個の電池セルのうち3個が露出していた。 ○露出した電池セル3個は焼損が著しく、このうち2個は封口体が外れて内部電極体の大部分が外に飛び出していた。 ○充放電制御基板は焼損していたが、出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
88	A202400866 令和6年10月15日(三重県) 令和6年11月21日	タブレット端末	iPad A1822	Apple Japan合同会社	(火災) 当該製品を他社製充電器に接続して充電中、当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、外観上、焼損が認められなかったが、液晶画面の一部が本体フレームから外れていた。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セル2個のうち、1個が著しく焼損しており、別の1個は焼損していなかった。 ○メイン基板等、その他の電気部品は焼損しておらず、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
89	A202400933 令和6年11月18日(静岡県) 令和6年12月12日	電動アシスト自転車	PA27CSP5	ヤマハ発動機株式会社	(火災) 駐輪場で異音がしたため 確認すると、当該製品及 び周辺を焼損する火災が 発生していた。	○当該製品は、バッテリーが搭載された状態で焼損しており、バッテリー搭載部の焼損が著しかった。 ○バッテリーは、樹脂製外郭が焼失し、内蔵のリチウムイオン電池セルが露出、脱落していた。 ○電池セルは全て確認できたが、焼損が著しく、多くの電池セルは封口体が外れて内部電極体が噴出していた。 ○バッテリーの充放電制御基板は焼損していたが、基材の穴空き等出火の痕跡は認められなかった。 ○バッテリーの下側に取り付けられたドライブユニットは、出火の痕跡が認められなかった。 ●当該製品は、バッテリーに内蔵されたりチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	